

11月19日(火) とき健幸給食のテーマは

給食を通して地産地消の良さを知ろう!

今日の岐阜県産・土岐市産の食材の紹介

＜岐阜県産＞

ぶたにく だいず
豚肉・大豆・

だいこん
大根

ぎゅうにゅう かき
牛乳・柿

＜土岐市産＞

こめ こまつ な
米・小松菜・

すだち しょうが
すだち・生姜・

ひよし
日吉みそ

地産地消の良さとは？

新鮮な旬の味覚を
味わうことができる

作っている人の顔が
わかり、安心感が
得られる

地域内で資金が還元
され、地域経済の
活性化につながる

農業が活性化する
ことで農地が保全され、
景観の維持や洪水の
防止につながる

運ぶ距離が短くなり、
エネルギーやCO2排出量
が削減でき、環境に優しい

SDGs (持続可能な
開発目標) の達成に
貢献できる

～地産地消は地球を守ることにつながる～



長い距離を運ぶ必要がなくなる
温室効果ガスの削減

フードマイレージ(food mileage)とは？

食べ物を輸入するときに飛行機や船、トラックなどが使われ、輸送距離が長いほど多くのエネルギーを消費し、多くの二酸化炭素を排出します。その食べ物の輸送が環境に与える影響の大きさを表す指標が「フードマイレージ」です。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{食料の} \\ \text{輸送量} \\ \text{(t)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{食料の} \\ \text{輸送距離} \\ \text{(km)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{フード} \\ \text{マイレージ} \\ \text{(t・Km)} \\ \hline \end{array}$$

フードマイレージが低いほど、環境への負荷が小さいという事になります。

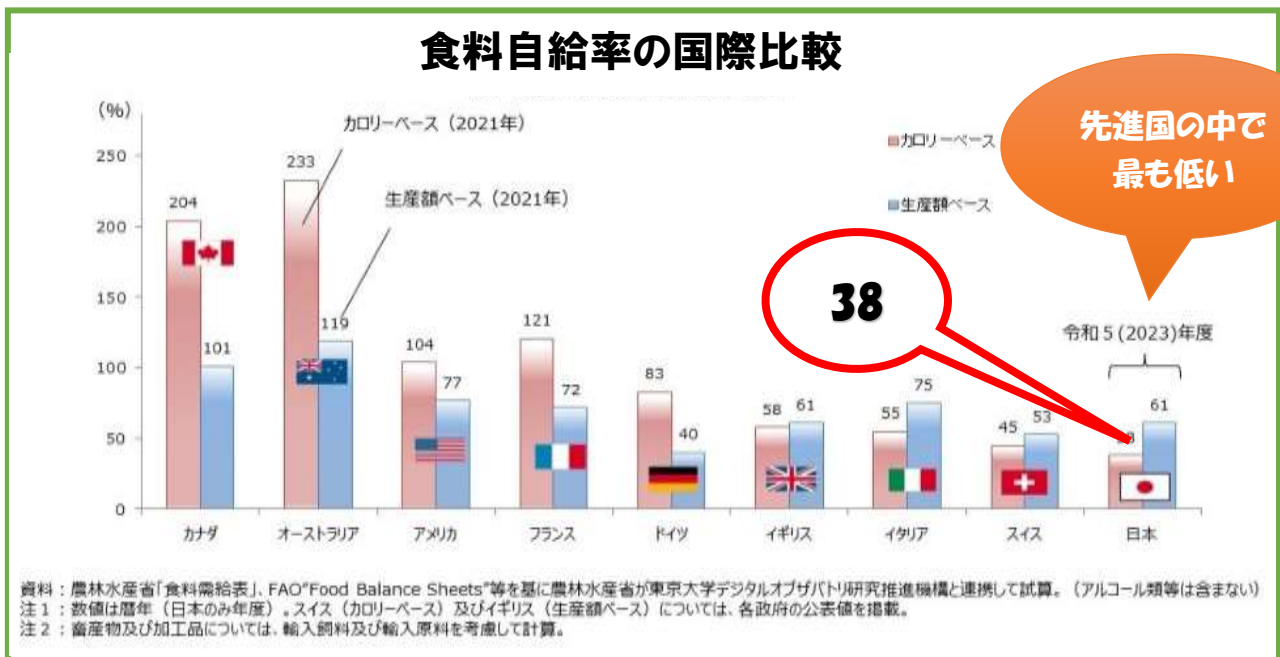


食料自給率について

国内の食料消費が、国内の食料生産でどのくらいまかなえているかを示す値です。

日本は多くの食料を輸入に頼っています。下のグラフからも先進国の中で最も低くなっています。

農林水産省では2025年までに食料自給率を**45%まで引き上げる**ことを目標としています。



※農林水産省ホームページより

未来のために、今からできる事をしよう！

- ・主食はご飯を中心にする
- ・国内産原料を使用した食材を購入する
- ・旬の野菜(国産、特に地元産)を利用する



子どもたちにより良い環境を残すためにできることは、日本の食料自給率を高め、フードマイレージを低くしていくことが大切です。